

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	浄化槽整備推進費	担当部局	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度	担当課室	廃棄物対策課浄化槽推進室	浄化槽推進室長 藤塚 哲朗				
会計区分	一般会計	施策名	4-6 浄化槽の整備によるし尿及び雑排水の適正な処理					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—	関係する計 画、通知等	廃棄物処理施設整備計画 (平成20年3月閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	浄化槽は下水道と同様の処理能力を有するオンサイト型の処理施設であり、地方の人口分散地域では効率的な整備が可能なものである。このような浄化槽の機能や特長について、自治体関係者やNPOなどへの理解を深める事業を行うことにより、自治体での浄化槽の整備推進を図ることとし、健全な水環境を確保する。							
事業概要 (5行程程度以 内。別添可)	・都道府県・市町村の浄化槽行政担当者に対し、浄化槽の具体的な整備内容・方法や課題への取り組み等に関して、環境省調査情報の還元や自治体との情報交換等の実施を通じ、国及び自治体間での連携を図り、国及びブロック毎の自治体間のネットワークを構築・情報交換を活発化させる(浄化槽行政ブロック会議)。 ・NPOとの連携により浄化槽に関する情報を提供・共有することによりネットワークの形成を促進する(浄化槽フォーラム)。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	52	52	28	13	13	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	52	52	28	13	13	
	執行額	3	14	6				
執行率(%)	6%	27%	21%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	平成24年度までに、浄化槽処理人口普及率(浄化槽普及人口の総人口に対する割合)を、12%とする		成果実績	%	8.72	8.74	調査中	12
			達成度	%	73	73	—	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	浄化槽行政ブロック会議、フォーラム開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	3	10 (11)	6 (10)	9
単位当たり コスト	951(千円/回)		算出根拠	浄化槽整備推進費(5,706千円)÷浄化槽行政ブロック会議等開催回数(6回)				
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	13	13					
	計	13	13					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	自治体での浄化槽の整備推進を図るため、国自らが事業を行う。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	廃棄物処理施設整備計画に基づき、浄化槽処理人口普及率を12%とし、平成18年度末から平成22年度末までに合併処理浄化槽は39万8千基増加しているが、1基あたり処理人口の減少の影響を受け目標の達成は困難な状況であるため。
	△	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当該事業は、市町村関係者や住民等における浄化槽に対する基礎的理解や意識が十分でないことから、浄化槽の整備推進を行う上で必要な情報の提供等を、行政や住民に対して行ってきたところである。平成16年度から22年度までの7年間に各道府県で浄化槽シンポジウムを実施してきた結果、市町村における浄化槽整備への機運が高まり、汚水処理整備計画の見直し等を行う事例も数多く現れてきている。また、平成19年度からは浄化槽フォーラムを実施することで、NPOとの連携や住民間のネットワーク形成が進んできている。このため、浄化槽に対する一定の理解や認識は進んだと思われるが、浄化槽整備事業を実施している市町村からは、整備上の課題（合併浄化槽への転換方策等）など浄化槽を巡る諸課題の取り組みに関する情報交換等の要望が強いところである。このため、平成23年度からは浄化槽の整備等に関する情報共有や意見交換により国と自治体相互のネットワークの構築を図るため、浄化槽行政ブロック会議の開催し、浄化槽行政間の連携を図ってきているところであるが、浄化槽シンポジウム事業を一旦終了し、事業を浄化槽ブロック会議と浄化槽フォーラムの開催に集約することで重点化を図り、より実効性のある事業として実施していくこととする。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		支出実績を勘案し、予算額を節減すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
縮減		支出実績を勘案し、事業内容を精査するとともに人件費等を見直し、概算要求額を減額。	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	125	平成23年行政事業レビュー	117

環境省
6百万円

〔業務内容の企画、実施状況の監督〕

【一般競争入札】

A. (株)ダイナックス都市環境研究所
3百万円

〔浄化槽フォーラムの開催事務〕

【一般競争入札】

B. (株)ダブリュファイブ・スタッフサービス
2百万円

〔浄化槽行政ブロック会議の開催事務〕

【少額随意契約】

A. (財)日本環境整備教育センター
1百万円

〔浄化槽フォーラム理事会の開催事務〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(株)ダイナックス都市環境研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料		2			
旅費		1			
その他	諸謝金、賃金、印刷製本費、消費税	1			
受注者負担分		-1			
計		3	計		0
B.(株)ダブリュファイブ・スタッフサービス			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料及び損料		1	雑役務		
その他	人件費、賃金、印刷製本費、雑役務費、通信運搬費、旅費、会議費、一般管理費、消費税	1	賃金		
			借		
			人権		
			旅費		
			会議		
			一般		
			税		
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
			備品		7,800
計		0	計		7,800
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダイナックス都市環境研究所	浄化槽フォーラムの開催事務	3	7	59%
2	(財)日本環境整備教育センター	浄化槽フォーラム理事会の開催事務	1	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ダブリュファイブ・スタッフサービス	浄化槽行政ブロック会議の開催事務	2	6	26%